

志木歴史考

武蔵の商都 「引又」の栄光

江戸期から昭和中期まで新河岸川舟運で栄えた商業都市「引又」が埼玉県志木市に存在した。

志木市の郷土史家として活躍する神山健吉氏による長年の「引又」研究を十二編の論文で構成。河岸場の発展経緯から、近隣都市に向かい四方に伸びる引又道の詳細、江戸期領民達の名主リコール活動、武州一揆時の幕府役人たちの手紙のやりとりなど、多岐に亘る資料に基づいた研究成果から、志木市の歴史・文化・民俗を精微に語り尽くす。

本書は、郷土史研究の第一人者である神山健吉先生が、多岐にわたる論文の中から志木市の旧地名「引又」に焦点を絞った入魂の論文十二編をもって構成されている。

江戸中期から昭和中期に至るまで、繁栄を築いた商業都市「引又」という土地固有の歴史が鮮やかに描かれた他に類を見ない貴重な著作である。

(本書「推薦のことば」より)
元志木市教育長・元県立浦和高校校長 細田信良氏

読み返せば読み返すほど地域の歴史をより深く

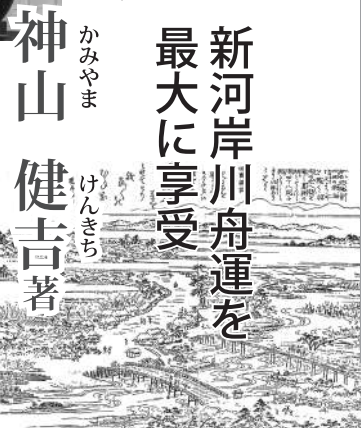


定価(本体1,800円+税)
A5判・並製本・
本文288頁+口絵4頁
ISBN 978-4-89623-104-5

地域歴史

本書構成

- 第一章 引又とは？
- 第二章 新河岸川舟運と引又河岸
- 第三章 宿場町としての引又
- 第四章 引又市考
- 第五章 在方町としての引又の発展
- 第六章 すべての道は引又に通ず
- 第七章 引又における名主交替の実例
- 第八章 近世における引又の水車
- 第九章 慶応二年の武州世直し一揆と引又地区
- 第十章 『星野半右衛門日記』に見られる幕末引又の豪商の婚姻の実態について
- 第十一章 幕末引又の高い文化レベル
- 第十二章 敷島神社祭神のうちの一柱「十殿権現」小考



神山健吉著
かみやま けんきち

新河岸川舟運を
最大に享受

1930年生まれ
東京教育大学(現筑波大学)文学部卒、読売新聞社入社

志木市史編纂委員、同編集委員
志木市郷土史研究会会長、
埼玉県郷土文化会副会長、
前志木市文化財保護審議会会長、
埼玉県文化財保護協合理事等
〔主な著書〕
『埼玉の地名 新座・志木・朝霞・和光編、苗字の研究』

申込書

志木歴史考

神山健吉著 武蔵の商都 「引又」の栄光

新河岸川舟運を最大に享受

定価
(本体1,800円+税)
ISBN 978-4-89623-104-5

注文数	冊
お名前	
電話番号	
書店名	

お近くの書店でご注文下さい

まつやま書房 0493-22-4162
Fax 0493-22-4460
〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5

問い合わせ先 **まつやま書房**

〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5
Tel.0493-22-4162 Fax.0493-22-4460

<http://www.matsuyama-syobou.com/>